

安芸中・高校

同窓会だより

第29号
同窓会事務局発行
H. 23. 2. 26



同窓会会長挨拶

同窓会会長 山崎 勲

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は本会の振興のためにご理解ご協力いただき、まことにありがとうございます。

さて、平成二十二年度同窓会の歩みを振り返ってみますと、四月のRKC高知放送会長半田久米夫様（高校第七期生）による開校記念講演会、七月の同窓会総会並びに徳島大学医学部教授谷岡哲也様（高校三十四期生）の記念講演には、多くの同窓生の参加を頂き、実のある会となりました。また、吹奏楽部定期演奏会や文化祭等にも多数ご参加頂き、交流を深めることができました。

さらに、学年別同窓会も数多く開催、活発に活動しております。本年も同窓会活動にご支援賜りますようしくお願いいたします。

さて、卒業生の皆さん、県立安芸中学校・高等学校での三年間（六年間）で培った絆は何にも優る、かけがえのない日々であったことと思います。ともに学び、スポーツを楽しむ、語り合った友達は一生の宝物です。その同窓生同士のつながりがこれからも続き、数年後、数十年後も皆さんのクラ

スや学年の同窓会が開かれることでしょう。そういう同期生の同窓会とともに皆さんは、旧制中学校や女学校の卒業生から皆さん方まで続く母校県立安芸中学・高等学校の同窓生として先輩たちと同じ仲間にはいることとなります。本校の卒業生は二万三千余名います。そして、先輩方はそれぞれ全国各地でご懸命に努力され活躍されていますが、青春時代を安芸中・高校で過ごした方々が年齢を超えて各地で集まり、中・高校時代を懐かしみ、ともに語り、助け合い、つながりをもつため、安芸中・高等学校同窓会を作っています。

人生の中で中・高校時代の三年間（六年間）はほんのわずかの通過点にしかすぎませんが、大人になって振り返ってみますと、まさに自分自身の人間形成の基礎を作る大切な時期ではなかったか、と思わずにはいられません。その中・高校時代を同じ学舎で過ごした母校の先輩、後輩というだけで親しみが生じ、心が通じるものです。孫のような年齢の皆さんの顔を見ますと本当にかわいらしく、いとおしく思います。県外に出られる方はぜひ、東京・近畿・東海の各支部総会に出席していただきたい

平成22年度 安芸中・高等学校同窓会総会開催される



本部総会

と思います。地元に残られる方は高知と安芸の総会にも出席してください。先輩方は皆さんに何かしてあげたいと思っていますので、何でも遠慮せず相談してください。きつとよいアドバイスがいただけると思います。

平成二十二年度七月二十四日（土）午後二時三十分より安芸市のホテルタマイにおいて、本年度の同窓会総会が開催されました。総会に先立ち、記念講演では谷岡哲也氏（高校第三十四回・昭和五十八年卒）を講師に「すばらしい出会いー現在・過去・未来ー」と題して講演が行われました。その後、総会では平成二十一年度会務報告、経常会計並びに特別会計決算報告、平成二十二年度事業計画、経常会計予算並びに特別会計予算等の審議を行いました。

出席数は講演が五十一名、総会が六十一名、懇親会が五十二名でした。講演には谷岡氏の同窓生も参加し、熱心に聴講しました。はるばる東京同窓会の武内博泰副会長、高知支部の半田久米夫支部長のご出席があり、大変楽しく盛り上がった会となりました。

しかし、まだまだ三十代、四十代の出席は少なく、今後、若い方々にいかに出席していただくかが、大きな課題といえます。各学年度の同窓会を盛り上げていただき、さらに総会へのご出席も何卒よろしくお願い申し上げます。

（同窓会事務局）

最後に、卒業しても母校のことを忘れず、何年か経って後輩のために役立てるように頑張ってください。皆さんの明日への飛躍を大いに期待しております。

総会日程

- ・平成22年7月24日（土）午後2時30分
- ・ホテルタマイ
- 講演 演題「すばらしい出会いー現在・過去・未来ー」
- 講師 谷岡哲也（高校三十四期生・昭和五十八年卒）

総会

- 1 開会挨拶
 - 2 会長挨拶
 - 3 各支部役員挨拶
 - 4 各支部役員挨拶
 - 5 議案
 - 第1号議案 平成21年度会務報告の件
 - 第2号議案 平成21年度経常会計並びに特別会計決算報告の件
 - 第3号議案 監査報告の件
 - 第4号議案 平成22年度事業計画（案）の件
 - 第5号議案 平成22年度経常会計予算（案）並びに特別会計予算（案）の件
 - 第6号議案 その他
 - 6 閉会の挨拶
- 懇親会
総会終了後



懇親会

同窓会総会記念講演

演題 「すばらしい出会いー現在・過去・未来ー」

講師 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 教授 谷岡哲也氏

(高校第三十四回生、昭和五十八年卒業)



現在、私は旧名では徳島大学医学部保健学科というところで勤務している。昔、徳島大学医学部を題材にした「眉山」という映画があり、その

映画の中では非常に古い施設の映像であるが、現在の大学病院は古い建物をほとんど改修しており、現代的施設になっている。私の研究室のメンバーは十名程度で、現在の研究は精神科領域の研究を主に行っている。それとコンピュータによる看護管理システムの開発を行っている。トヨタ自動車

【中・高校時代】

中学時代は、背の小さい生徒で中学一年生で一四〇センチぐらいしかなかった。親のすすめで吹奏楽部に入った。あまりやる気もなく、何をやっているか全くわからない生徒であったが、中学三年生になったら、自分には吹奏楽しかない、トランペットが

ないと僕の将来はないというぐらいのめり込んでいた。また、小学・中学の時は勉強がでずに高校へ行けるか心配であった。中学二年生から三年生になるときに、英語教師であった父が一週間で中一〜中二の総復習をやってくれて、それから急に英語で点数が取れるようになって自信がついた。それで他の科目も点数が取れるようになった。内申点は非常に悪かったと思うが何とか安芸高校に入学できた。中学ではトランペットだったが、指導者からの勧めで中学三年生からフルートに転向した。高校でもフルートをやっていた。高校一年生で思ったことが、やりたいことは音楽、行きたい大学は東京芸術大学であった。なぜ東京芸術大学に行きたかったかという時、当時、YMO（イエロー・マジック・オーケストラ）と言うグループが流行っていた。その中の坂本龍一さんが東京芸術大学出身であったので、そこへ行きたいと単純に思った。高校一年生の時、吹奏楽部をやめてバンドに没頭した。この時にすばらしい先輩に出会った。現在高知女子大学で英語の教授をされている五百蔵高浩先輩で、この講演の紹介もいただいた。この先輩にベースを教えてもらった。高校三年生の時のあだ名が「おっさん」で老けた高校生であった。高校三年間は勉強はしなかったが、本当に楽しかった。高校一年生の時のホーム主任が林繁実先生で非常に可愛がってもらった。また高校三年生で本当に大事にしてくれた先生が藪内末広先生だった。この藪内先生はいつも「粉骨砕身」と言う言葉を使っていて、「とにかく頑張れ、頑張れば何とかなる」とおっしゃっていた。その頃の自分

はあまり言うことをきかず、いつも怒られていた。厳しかったがそれが非常に有り難かった。今、そこまで叱ってくれる先生がいるだろうか。高校三年生の時の写真では、坊主になっているがこれも叱られた結果である。当時の藪内先生は二十七歳ぐらいで高校の官舎に呼んでご飯をご馳走になっていた。卒業後も非常に可愛がっていた。だき、教員になってからも飲みに来て頂いたりした。

【自衛隊・看護学校時代】

学校以外での勉強といえば、沢山の人の出会いの中で教わったことが多い。まず、店を三店舗経営していた安田果物店の大将は中卒で遠洋漁業にも出ていたが、「努力すればなんとかなる」と言うことを教えて頂いた。高校卒業後、自衛隊へ入隊した。自衛隊の教官川原二曹先輩からは、服はボロは着ていても洗濯だけはしておくこと、これはいつ死んでも迷惑をかけないようにすることであった。しかし、自衛隊では防衛大学卒の最初の階級に、高校卒では定年までいても昇進できない。その現実を見たときにこれは勉強しないとけないと悟り、勉強を始めた。

その後、自衛隊は一年で除隊し、看護学校へ入学した。なぜ看護学校かという点、働きたいから行けることであつた。その時に働いていたのが、先ほどの安田果物店であった。安田の大将には仕入れに



連れて行ってもらったり非常に可愛がってもらったが、その親戚の池内のおんちゃんという方がいて、本を読む事の大切さを教わった。また、准看学生時代の野田先生、芸陽院で働いていたときの患者さんからは大学院へ進学するきっかけを頂いた。さらに現在四国大学教授の川内鶴樹先生である。先生は安芸病院にあって准看の学校を卒業後、安芸病院で働きながら安芸高校の定時制、さらに通信教育で大学を卒業して、徳島大学大学院で博士号を取得された先輩であり、私の次の目標となった。

池内のおんちゃんから薦められたのが、五味川純平の『人間の條件』という本であった。戦時中の話でいかに家族を守るかがテーマの本であった。次に准看時代に自分が読もうかと思つた本が、渡辺淳一の『四月の風見鶏』という本で、作者が北海道で医者をやっていた時期にあって、日本で初めての心臓移植の手術の話で、おぼれた青年はあったが、蘇生措置をすれば助かったかもしれない状態での心臓移植を強行した事が暴露されて問題になった事件を題材にした本であった。この本がきっかけで渡辺淳一の本を数多く読んだ。この時、医学の研究をしたいと思うようになった。

二十歳の時に父親が亡くなったが、父親は英語と音楽の教員をしていた。本棚にはいろいろな本があったが、特にゼロ戦とか、第二次世界大戦とかの本が多くあり、その中に『大空のサムライ』というゼロ戦の本があった。作者は坂井三郎先生が世界的に有名なゼロ戦の名パイロットである。彼は四等水兵からのたたき上げで、最期は幹部、海軍中尉にまでなり、そのあきらめない姿に感銘を受けると共に、また最期に生き残ったというところがすごいと思う。戦争中はアメリカ軍と戦い、ことごとく勝っていくが、ラバウル・ポートモレスビーで敵機との交戦で、左目を撃たれて、玉が頭に残って右半身麻痺のまま、敵艦に突っ込もうと

思ったが敵艦がなく、意識が薄れる中、自軍飛行場まで戻ってきた。そして病院に収容されたが、病院を脱走して基地に戻り、教官として指導にあたり終戦まで戦った。この方のあきらめない姿勢がすごいと思いい、この方の本も読み漁った。

【芸陽院時代】

自分は作ることが好きで、小学校では料理、中学・高校は音楽、執筆活動、研究や論文も同じ創作活動であり、大いに役立っている。また、部活動やアルバイトの経験も非常に役に立っている。その研究することの楽しさを教えてくれ、研究者への道を勧めてくれたのが、芸陽病院院長の高坂要一郎先生であった。高坂先生は、北海道大学卒業後、ドイツ留学、高知医科大学助教から芸陽病院の院長を歴任されていた。それともう一つが英語であった。英語は嫌いになったり、好きになったりしたが、今では英語で仕事をしている。芸陽院時代に、高坂要一郎先生と精神分裂症とパーキンソン病が合併した症例について、二年間研究して論文を発表した。その後高知工大で歩行障害の特徴を十年間研究して博士号を取得した。頭の中にはドーパミンなどの神経伝達物質があり、それが欠如すると神経からの伝達があまくいかず、歩行障害が起こったり、動きにくかったりという障害が起こってくる。これが精神科の患者に多く見られ、精神科の治療薬の副作用で発生していた。薬物性パーキンソンイイズムというが、これを何とかしたいということで研究を始めた。その時に協力して頂いたのが井上善雄教授であった。神戸製鋼の技術者出身で義足の関節の研究で、関節にマイクロセンサーを埋蔵して、人が歩いているのと同じように動かす研究をしていた。高坂先生と井上先生との指導協力で十年間研究して学位を取り、高坂先生の支援でその論文をサルフォード大学での学会で発表した。

【川崎医療福祉大学時代】

自分がなぜ川崎医療福祉大学に行ったかというと、英語ができて精神科を教える先生を募集していたので、すでに芸陽病院時代に大学院修士課程を修了しており、応募合格した。自分が講師をしているときに、お世話になった先生が Rynder 島崎玲子教授である。この先生に習いたいと思っていた矢先、たまたま赴任されてきて気さくに声をかけて頂いた。島崎先生は土佐女子高から大阪赤十字病院の看護師を経て、アメリカ・コロンビア大学留学、働きながら修士・博士号を取得され、二十年後北里大学の教授として帰国されている。高知出身ですごい先生がいることに感銘している。現在は八十歳ぐらいであるが、まだ現役で教員をされている。

次にご紹介するのが川崎医療福祉大学の Betty S. Furuta 教授である。Betty S. Furuta 教授に三年間お世話になった。先生は日系三世で日本語は片言で、びっくりにしたのは、頭の中が日本人の教育は明治のままで、アメリカの教育を受けており、ものすごく馴れとレディーファーストの習慣に敵しかったことだ。その先生に戦時中のお話を伺った。当時、アメリカ人として生きてきたのに、砂漠のど真ん中の日本人捕虜収容所に収容された辛い経験をされているが、日本人としての誇りは持っていて、アメリカで教授になり、日本の大学に招聘された。その Betty 先生から英語をもっと勉強するようにということで、アメリカ・ミシガン大学に留学する機会を頂いた。

【徳島大学時代】

私が川崎医療福祉大学時代に博士号を取得したが、看護学校四年卒業後、大学一年から四年間、大学院五年間、計十三年間で富士山の頂上に登り詰めたかなと思ったり、

実際は博士号を取ったところは、まだまだ富士山の裾野辺りであることに気がついた。その頃徳島大学の助教になった。その時にお世話になったのが、中国人の任福継 (Ren Fujin) 教授である。大学教授は教員免許がいらないので教え方が下手である。そこで徳島大学では小学校の教科書を使って教え方の特訓を行った。その時に同じグループにいた先生である。この先生は北京大学卒業後、北海道大学で博士号を取得している。その後、日本の企業で十年間勤務したあと大学の教授になられている。この先生からは英語で書くことを勉強する必要を教わった。教わっただけでなく、一緒に行こうと誘ってくれてチャンスもくれた。次に Rozzano Loesin (ロザーノ・ロクシン) 教授であるが、この方は徳島大学の姉妹校・提携校のフロリダ・アトランティック大学の先生である。この方も看護師出身であるが、フィリピン人でフィリピンで大学卒業後、博士号を取得し、単身アメリカに渡り、大学教授をしている。この方も英語で苦労されていて、本を出しているがその本が『Technology And Nursing』でその中に私も一章を書かせて頂いている。

【大学教授への動機】

ノーマライゼーションという言葉があるが、これは障害のある人もない人も、地域で当たり前の生活ができるようにすることである。平成七年に日本もこういうことを目標に掲げた。具体的には平成三年にできた地域保健法であるが、もう二十年も前から勤務したが、その当時「社会復帰病棟」というのがあって、当時二十歳ぐらいで入院した人が未だに入院している。

これではノーマライゼーションというのは無理であると考えようになった。一人では無理であるが、大学教員になれば千人に教えれば、千人が広げることができるの

で大学教員になろうと思った。

【恩師(故)永峰勲教授】

徳島大学で永峰勲教授の下で准教授をさせて頂いた。永峰先生は高校生の時に腎臓を患い、透析をしなければならぬ状態で、東京大学法学部を卒業、大学院修士を終了し三井造船に就職し、プログラマーを五年間やっていた。プログラマーの仕事で、ストレスから舌が飛び出る状況になり、これは何でだろうと思いい、一年間で徳島大学医学部に入り直して医者になり、精神科の博士、助教となっていた。すごいのは週三日の人工透析をしながら医者になったこととそれを支えた奥さんであり、腎臓の提供者にもなった。

現在では血液型が違っても免疫抑制剤で移植可能になっているが、先生は移植後四年後に腎臓移植しなかった方の腎臓に癌を発症して亡くなった。亡くなる前にのこと、毎日の発熱があり体調を崩されていたが、大学の前期試験が終わる頃にイギリスの学会の準備で忙しいなか、大学院生の論文の採点をされていた。「それは自分が必要です。」と言ったが、「あなたは外国に行く前で忙しいだろうから私がします。」と言って、病院のベッドで採点をされた。その後病状が悪化し、

最期に私に「迷惑をおかけします。」と言って、その数時間後にお亡くなりになった。その手のぬくもりは今でも忘れられ



ない。

永峰先生がいつも言っていたことが、私はクリスチャンであり、「コリントの信者への手紙」が好きであるとおっしゃっていた。葬儀の際も牧師さんよりそのことが紹介されていた。内容を理解するのは難しいが、その中の「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない」と言う言葉があり、結局、永峰先生は自分が死ぬ寸前まで、人のことを心配していたし、「ありがとう。あなたのおかげで私はこうしてられます。」という言葉をいっつも言っておられた。永峰先生は、忍耐深く、親切で、決して他人をねたまない。東大法学部を出て、さらに医者になっても決して言わないし、自分のような学歴のないものも大事に可愛がってくれた。先ほどの富士山の写真のように、富士山に登ったつもりでいたのに、自分の知っていることはほんのわずかなことであると言うことを言っておられるのではないかと思うようになった。今でも永峰先生の写真は飾らせて頂いている。奥さんは一年間はお墓に入れないと言っておられたが、現在は大学の裏の大学や吉野川が見える丘にお墓が作られている。私も困ったときにはそのお墓に相談に行っている。そういった非常にいい出会いをさせて頂いた。

いい上司に恵まれたことも大きい。それにそのような人物になりたい、そのような生き方をしたいと思ってきた。これからどうすべきかと言うことについて、現在は管理職としての仕事が多く、今までは教授について仕事をしていたら良かったが、これからは自立していかなければならない。研究を中心にやっていきたいが、自分一人ではできないので研究の仲間を増やして、人の役に立つ研究成果を出していきたい。また、実践家、研究者を育てる努力をしたい。それとずっと単身赴任を続けているので、もう少し家族の時間を大切にしたいかなと思っている。

【最後に】

いくつかの写真をお見せするが、言いたいことはいつでも行動できる準備が重要であるということだ。また、その時その時の人との出会いが重要である。さらにチャンスを活かすために自分を変える必要がある、自分を積極的に売り込んでいく、他者に活用してもらおうことが大事である。それと高い目標を設定して努力することも大事である。これまでを振り返ってみると、自分もみんなに大事にしてもらったことと自分の目標になる人がいた事であろう。また非常に

安芸高校の先生方へのお願がある。先日、鹿児島での学会の際に、薩摩藩の西郷隆盛の記念館にあつたものであるが、それは「一、心身を鍛練せよ 一、嘘を言うな 一、負けるな 一、弱いものをいじめぬな 一、質実剛健たれ」というものであった。自分が全部できているというわけではないが、ぜひこういふことを教えて頂きたい。特に負けるなと言うことをぜひ教えて頂きたい。そして勝つたら弱いものをいいたわると言うことも大事であろう。今後の取り組みとして、トヨタやホンダがロボットを作っているが、自分は看護の研究で人型ロボットの研究を深めたい。看護としてケアリングを実践するための技術的能力の明確化及びそのケアロボット開発への応用である。ロボットは人間に似すぎたヒューマノイドロボットはちょっと不気味で、自分はトヨタ型のロボットでのケアを考えている。今回の講演の中で、紹介させて頂いた方はごく一部ですが、この講演を通じて、その方々の顔を思い浮かべながら、話をさせて頂いた。私はThank youという言葉の中に、自分が好き放題やってきたので、いろいろな方の迷惑をかけたことへの懺悔という言葉を含んでいる。皆さんに感謝し、ありがとうという言葉を送らせて頂きたい。

各支部との交流

- ◆同窓会本部総会
平成二十二年七月二十四日(土)
場所：ホテルタマイ(安芸市)
- ◆高知支部同窓会総会
平成二十二年二月二十六日(金)
場所：高知会館(高知市本町)
- ◆近畿支部同窓会総会
平成二十二年七月四日(日)
場所：大成閣ホテルグランピア大阪
- ◆東京同窓会総会
(大阪市中央区東心斎橋)
平成二十二年七月八日(木)
場所：ファーストスクエア宴
- ◆東海支部同窓会総会
(千代田区大手町)
平成二十三年二月六日(日)
場所：アイリス愛知(名古屋市中区)

平成二十二年二月二十六日に隔年開催の高知支部総会が開催され、支部長が寺尾好男氏から半田久米夫氏(RKC高知放送会長)に交代されました。また、七月四日に市部会近畿支部総会、七月八日に東京同窓



東京同窓会総会



近畿支部同窓会総会



東海支部同窓会総会



高知支部同窓会総会

会総会、平成二十三年二月六日東海支部総会が開かれました。近畿支部が約三十名、東京同窓会が約四十名、東海支部が十五名の出席がありました。近畿支部には今年四月から関西方面の大学に進学した四名も参加し、孫を見るような温かい応援をいただきました。ご高齢の方から五十歳代、四十歳代まで、出席していただき、同じ学舎で過ごした者同士、生徒だった当時を懐かしみ、しばし語らいの一時を持つことができました。共に語り、校歌も一緒に歌い、とても盛り上がりがあった楽しい集いとなりました。各支部の同窓生の皆様のご健勝とご活躍をお祈り致します。(同窓会事務局)



高知支部半田新支部長



東海支部竹内支部長



近畿支部水上支部長



東京同窓会柏戸会長



高知支部 寺尾前支部長への花束

平成22年度各支部代表

東京同窓会長	柏戸正英	高普2 (S26)	〒260-0854	千葉県千葉市中央区長洲2-21-16
近畿支部長	水上忠義	高普2 (S26)	〒638-0811	奈良県吉野郡大淀町大字土田507-320
東海支部長	竹内直彦	高普9 (S33)	〒507-0826	岐阜県多治見市協之島町6-67-14
高知支部長	半田久米夫	高普7 (S31)	〒780-0034	高知市三園町84
高知支部事務局長	野町幸一	高普10 (S34)	〒780-8040	高知市神田509-5



旧同窓会資料表紙

後日、西岡静祐会長、小松基壯事務局長より、安芸高校本部同窓会に對しまして、総会等の残余金五万円を寄付いただきました。本部同窓会事務局として、財政逼迫の折、大変有り難く有意義に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

平成二十二年八月十五日(日)、第三十五回(平成二十二年)旧制安芸中同窓会(第四十三回・昭和二十一年)卒、二千四年度新制高校卒)がホテルタマイで二十五名の参加を得て、盛大に開催されました。総会では、開会の辞の後、物故者に対するの黙祷を捧げ、西岡静祐会長の挨拶があり、経過報告、監査報告、役員改選等を行いました。その中で、三十五回を重ねた旧制安芸中第四十三期同窓会も、会員の高齢化や身体上の理由により、会の運営継続に困難が生じるようになり、非常に残念ではありますが、本年度限りで本同窓会を終了することが決定されました。最後と云うこともあり、今回の参加者、二十五名は全員で乾杯の後、祝宴に移り、それぞれの思い出やお互いの人生、現在の様子などを語り合い、楽しいひとときを過ごすことができました。

第三十五回(平成22年度) 旧制安芸中同窓会
 (第43回・昭和21・22年度卒、24年度新制高校卒)

学年別同窓会の紹介

同窓会と同期の同窓会とは、昭和二十二年の学制改革による新制高等学校の第一回生(昭和二十五年三月卒業)一三六名、旧制安芸中学校第四十五回生(昭和二十四年三月卒業)十五名、旧制安芸高等学校四年終了生(昭和二十三年三月卒業)五十八名、同第二十六回生(昭和二十四年三月)七十一名、計二百八十名の構成メンバーです。そのうち、逝去者六十一名、住所不明者を除く方々に案内状を送付し、結果、出席者五十七名、欠席連絡者八十四名でした。同期生は今年で八十歳の傘寿となり、健康のため、家族の介護のため、逝去者増のため、平成二年、平成七年開催の八十七名の四割



安芸高女第26回生・安芸中学校第45回生・安芸高校第1回生同窓会

なお、この学年同窓会は毎年、立派な「同窓会総会冊子」を作成しており、本部にも一〜二部寄贈いただいております。過去の分も含めまして、同窓会館で保存させていただきます。

安芸高校第一回同期の最後の同窓会報告

世話人代表 山崎 勲

さて、私たちは前回、当ホテルで同窓会を開催してから三年ぶりでございます。高校卒業してから今年でちょうど六十年を過ぎ、還暦を越えました。時の流れの早さに驚きの外ありません。齢のせいでしょうか、この度は各人、お会いするたびに健康状態に伺いを立てるようになりました。皆様方、夫々大なり小なり持病があるようですが、それよりもこうして忘れ難き同級生にお会いすることが何よりで、再会する喜びと懐かしさを噛み締めているように思われます。顧みまずと私共、男女共学になったのは高校二年生の時でした。終戦後、まだ二、三年しか経っておらず、日常生活は戦時中

本県在住の同級生を代表しまして、ご挨拶いたします。

中学、高校生に戻り、特に印象に残った事などを申し上げ、少しばかり時間を頂戴いたします。皆さん、ようこそ本日も出席くださいました。母校から森校長先生、並びに正木教頭先生には、ご多忙のところ、ご来席を賜り誠にありがとうございます。また、恩師、野島先生は、いつお会いしても変わりなく若さを保っていらっしやいます。先生の笑顔を拝見しますとにわかに、ぱっと明るい灯火が燈ったような感じがします。

減の参加となってまいりました。参加者の内訳は、男子二十名、女子三十三名、県外からも(主に関東地区)十二名の参加がありました。恩師の野島先生、母校の安芸中・高等学校から森校長先生、正木秀市教頭先生が参加していただき、母校の現状をお話しくださり、花を添えて頂いた事に改めて感謝申し上げます。

なお、今回の同窓会の剰余金五万二千元を同窓会本部に寄付することにしました。今後は、グループ毎、地域での集まりになつていくことと思っております。

以上、最後の同期同窓会の報告とさせていただきます。

ご挨拶

同窓生代表 長野 幸祐

と殆ど変わっていませんでした。米は農家であつても家族通帳による配給制であつたし、学生服も軍隊の払い下げで、例の国防色の服を着ていました。また靴も同じく払い下げで片方の肩掛け袋を代用してました。中には風呂敷包みや、あるいは教科書やノートを紐で十文字に結んで通学した者もいました。履き物も靴が無く、戦時中の藁草履から旧制の高校の履いた高い差し下駄でしたが、よく鼻緒が切れたことを覚えています。その後、普通の低い下駄に変わりました。雨天であろうと晴天であろうと卒業するまで履き通しました。女性の方達もスカートではなく、戦時中のモンペ姿で、その後もずっと履いていたように思います。

当時、幼心にも気の毒に思つた事は、寄宿舎生も勿論ですが、自転車通学の方々でした。特に雨降りの時です。昔は舗装無き砂利道です。片手に唐傘、片手にハンドルで、その頃は時々パンクして、やむなく遅刻する者がありました。朝の一時間目の授業に間に合いかね、小走りに席に着く友の姿。雨脚の速く、また冷たい秋雨を真正面に受け、下半身すっかりずぶ濡れになりながら、それでも何食わぬ顔で授業を受けていました。その方々は遠く吉良川から通っていた谷叶君、奈半利からの上村多平君、田野、安田からの皆さんでした。また、大雨ごとに山崩れで道が塞がったと聞かされました、入河内からの山下雅巳君や信清正臣君でした。

片や汽車通では、機関車が燃料不足で、亜炭か薪だったかも知れませんが、西に向かう難所、矢流の坂では通り越す力がありませんでした。私は穴内出身でしたので、遙か穴内駅の東の方まで下がり、今度こそはとばかり最初から全速で蒸気を蹴散らしながら駆け上がったという光景を何度も見かけました。今でも赤野の谷岡久君と語り合います。笑い話の種となっています。

ともあれ、その頃は日常必需品をはじめ、全て物不足に伴う不自由さは各人、夫々、筆舌に尽くせぬ苦勞をなさつたと思われませんが、決して不平不満を口に出すことなく、

唯ひたすら辛抱強く、耐え忍んだのであります。

卒業後、母校を後にする時、喜びもさることながら、この戦後のどさくさ紛れの中、放たれた雛鳥のごとくでした。別に確固たる目的もなく、道無き荒野をさ迷いながら、何としても明日の光を見いだしたいと校門を去っていったように思います。けれども、どんなに路頭に迷つても、これまで戦中・戦後を通じて、七転八起してきた様々な艱難辛苦が、返って賜物となりまして、良き反骨精神やいゆる堅忍不拔の心構えや自立心などが芽生えたのではなかつたでしょうか。

あの厳冬の中、耐えて花をつけ清香を放つ白梅の如く、私たちの同期生は先輩、後輩と比較しても、より多く有名校へ進学され、社会に出ても数多くの優秀な人材を輩出しました。同級生一同にとつても、これもおおきな遺産であり、誇りでもあります。またそこには、麗しい相互、心と心との結びつきが自然と生まれました。その例の一つとして、毎年開かれています東京の「妙見会」の皆様方です。私もかつて出席しました。私は帰途に着いた道すがら、こんなに、どんなに離れた異郷の地でも、母校や故郷を忘れることなく、がっちり固く結ばれた温かい友愛と皆一つになって力を合わせた第一回卒業生の絆の深さ、心の宝の重さを改めて、しみじみと悟つたのであります。

さて、皆様方、今後は傘寿を過ぎながら、愈々八十代路線を登り始めますが、この旧安芸の町は、時を越え、世代を越え、何時の世にも故郷の匂いがします。淡い青春の夢通わせた、この町で本日をもって同窓会も最後の顔合わせかと思えます。それでは、本夕は有終の美を飾り、どうか盛況で有意義な会になりますよう、念願集まり取り止めなく長くなりましたが、以上を以って挨拶いたします。

高校三期生 最後の同窓会

結束力強い三期生も高齢化、大規模な同窓会は最後にする事と決定し、「第五十八回同窓会」が六月十八日に開催された。総会に先立ち、岡崎豊先生に当時さながらの世界史の授業「アメリカ史の断片」を行ってもらい、参加者全員が当時の高校生に戻って昔を懐かしんだ。また、総会では吹奏楽部に校歌や童謡等を記念演奏をしてもらった。また、「母校への恩返しに」とこれまで積み立ててきた百万円を母校へ寄贈。本部総会では感謝状も頂いた。その後の懇親会では、岡崎先生も出席、昔話に歓談の輪が延々と続き、名残惜しい時間が過ぎていった。



3期生同窓会記念品贈呈

3期生同窓会記念演奏

潮の音に思いを寄せて

商業科&被服科 第二十八期生
(昭和五十二年度卒)
福島 久実

同級生に会うと必ず「同窓会したいねえ、皆どうしゅうろうかねえ」と言いながら近況を報告し合い、年月ばかり過ぎていきました。稲田君が発起人となり、計六名の世話役が集まり準備を始めたのが十月半ば。お正月の二日、ホテルタマイに決定。三十二年も経つ

と住所も姓も変わっていて、沢山の人の協力してもらいながら、何とか葉書の発送ができました。

同窓会当日、受付の間に学校からお借りしていた校歌のテープを流させていただきました。校舎の窓から眺めていた松の並木や潮風の香、諸々のことが懐かしく胸に沁みこんできました。

三クラスで三十四名の参加。そして三年間、主任・副主任として私たちに携わってくれた北岡敬弘先生も出席してくださり、ユーモアに富んだ温かいお言葉をいただきました。皆、容姿の変化は多少(かなり?)あつたけれど、声も雰囲気も学生時代のまま。懐かしい思い出話や今だから言える暴露話に、終始笑いが絶えず、あつという間に三時間が経っていました。携帯電話の番号やアドレスの交換をし合い、次回の再会を約束して散会しました。今は普通科ばかりになった安芸高。もう商業科・被服科の後輩は居ないのだと思うと少し寂しいですが、その分同窓会で盛り上がり、輝いていた青春の痕跡を残していきたいと思えます。

三十年前にタイムスリップ!!

高普・第三十二期生
(昭和五十四年度卒)
角田かおる

「五日が卒業三十年同窓会をしたやつてえ〜! 校内見学もして楽しかったらしいよ」
ことのはじまりは、J子の鶴の一声でした。我がクラスの取締役I君と三人で勝手に「二日もやろう! やろう!」と話が盛り上がり、



昭和52年度卒業 安芸高校商業科・被服科合同同窓会



日程はお盆の八月十五日に即決定。まずは、創立百周年会員名簿と卒業アルバムの巻末にあった実家の住所と電話番号を頼りに、電話をかけまくり(笑)不明人の捜索。思いがけずお父様お母様から優しい言葉をかけて頂いたり、本人と卒業以来初めて話ができた。住所調べは本当に楽しい作業で、全員に案内状を出せたことはすごく幸せな事でした。

さて、八月十五日当日。夕方四時に安芸高校正面玄関に十二人が集まり、まずは懐かしいの三十一日があった教室へ。えいおんちゃん、おばちゃんがワイワイはしゃぐこと！はしゃぐこと！次に中庭で記念撮影。最後は体育祭後、焚き火しながら暗くなるまで、皆で余韻に浸った前の浜へも足を伸ばし、そこでまた当時の懐かし話に花が咲きつつ記念撮影。浜の景色は三十年の時の流れを確実に感じさせる変貌ぶりでしたが、落ちてくる夕日や波の音はあの日のままでした。

夜六時、宴会場。集まってくる懐かしい顔・顔・顔。一見では「あれ？誰？」と思う人もいたけど、笑顔や仕草は昔のままで、すぐに思い出せます。ワイワイガヤガヤと話が尽きることもなく、支払いの時に余りにも予算が残って驚きました。喋ってばかりで追加の料理もほとんどなく、酒量も予定よりぐっと少なかったのです。

この日のためだけに帰省してくれた仲間もいて、四十五人中二十九人も集まった大宴会は大盛況の内に終わりました。昔の仲間は一瞬でタイムスリップさせてくれて、この日ばかりは皆高校生気分でした。残りすぎた予算もあるし、早速、次の段取りです。次は再来年のお正月。ほぼ全員五十歳になったよ記念同窓会をします！

高知県立安芸高等学校過去3年間の合格状況

平成19年度合格者数			平成20年度合格者数			平成21年度合格者数		
国公立大学・大専校 (28) 過年度5			国公立大学・大専校 (42) 過年度1			国公立大学・大専校 (20)		
高知大学 15	香川大学 1	島根県立大学 2	高知大学 15	静岡大学 1	都留文科大学 2	高知大学 5	鳥取大学 1	
高知女子大学 4	徳島大学 1		高知女子大学 4	岡山大学 1	島根県立大学 1	高知女子大学 3	尾道大学 1	
横浜国立大学 1	九州大学 1		高知工科大学 6	広島大学 1	県立広島大学 1	高知工科大学 4	青森公立大学 1	
鳥取大学 1	大分大学 1		帯広畜産大学 1	島根大学 1	水産大学校 1	香川大学 1	兵庫県立大学 1	
山口大学 1	都留文科大学 3		室蘭工業大学 1	香川大学 4	四国職業能力開発大学校 1	愛媛大学 2		
愛媛大学 1	兵庫県立大学 1		茨城大学 1	琉球大学 1		岡山県立大学 1		
関東・関東以北地区私立大学 (7)			関東・関東以北地区私立大学 (12)			関東・関東以北地区私立大学 (13)		
日本大学 3	神奈川工科大学 1		日本大学 1	帝京大学 1	専修大学 1	日本大学 1	東京電機大学 1	横浜美術大学 1
創価大学 1			獨協大学 1	立正大学 1	東洋大学 1	千葉工業大学 2	立正大学 1	武蔵美術大学 1
東海大学 1			和洋女子大学 1	東海大学 2	東京農業大学 1	工学院大学 1	流通経済大学 1	大東文化大学 1
東京電機大学 1			昭和女子大学 1	流通経済大学 1		神奈川工科大学2	専修大学 1	
中京・甲信越地区私立大学 (2)			中京・甲信越地区私立大学 (0)			中京・甲信越地区私立大学 (2)		
名古屋学院大学 1	愛知学院大学 1					名城大学 2		
関西地区私立大学 (22)			関西地区私立大学 (53)			関西地区私立大学 (38)		
立命館大学 1	甲南女子大学 1		大谷大学 1	大阪商業大学 3	神戸薬科大学 1	大谷大学 1	大阪体育大学 1	
京都産業大学 1	武庫川女子大学 1		京都産業大学 10	関西大学 5	園田学園女子大学 1	京都産業大学 13	ブルック学院大学 1	
大谷大学 2	神戸女子大学 2		同志社女子大学 1	近畿大学 3	流通科学大学 1	京都橘大学 4	関西福祉大学 1	
関西大学 3	神戸松蔭女子大学 1		同志社女子大学 1	桃山学院大学 1	近畿医療福祉大学 1	関西大学 6	神戸学院大学 1	
近畿大学 6			立命館大学 1	大阪成蹊大学 1	奈良大学 2	大阪国際大学 1	佛教大学 2	
大阪大谷大学 1			龍谷大学 3	関西学院大学 1	園田学園女子大学 1	姫路獨協大学 2	追手門大学 1	
大阪成蹊大学 1			大阪経済大学 2	甲南女子大学 1	摂南大学 1	大阪商業大学 1		
大阪経済大学 1			大阪経済法科大学 1	神戸学院大学 2		大阪経済大学 2		
摂南大学 1			大阪産業大学 1	神戸女子大学 7		京都造形芸術大学 1		
中国・四国地区私立大学 (41)			中国・四国地区私立大学 (34)			中国・四国地区私立大学 (48)		
高知工科大学 12	美作大学 4	広島国際大学 2	松山大学 7	美作大学 3	広島経済大学 1	松山大学 8	美作大学 3	岡山理科大学 3
松山大学 4	川崎医療福祉大学 1		四国学院大学 2	吉備国際大学 3	福山大学 1	四国学院大学 2	広島国際大学 3	広島国際大学 3
四国学院大学 3	倉敷芸術科学大学 1		四国大学 2	岡山商科大学 1		四国大学 5	吉備国際大学 4	吉備国際大学 4
四国大学 3	吉備国際大学 2		徳島文理大学 7	就実大学 2		徳島文理大学 6	倉敷芸術科学大学 4	
徳島文理大学 8	岡山商科大学 1		川崎医療福祉大学 4	日本赤十字広島看護大学 1		川崎医療福祉大学 2	環太平洋大学 1	
九州地区私立大学 (0)			九州地区私立大学 (0)			九州地区私立大学 (0)		
短期大学・短期大専校 (23)			短期大学・短期大専校 (15)			短期大学・短期大専校 (11)		
高知短期大学 3	島根県立短期大学 1	岡山短期大学 1	高知短期大学 1	美作大学短期大学部 1	京都女子短期大学 1	高知短期大学 1		
高知学園短期大学 9	大分県立芸術短期大学 1	美作大学短期大学部 1	高知学園短期大学 7	桐朋学園芸術短期大学 1		高知学園短期大学 7		
新見公立短期大学 3	華頂短期大学 1	徳島文理大学短期大学部 1	新見公立短期大学 1	今治明徳短期大学 1		三重短期大学 2		
倉敷市立短期大学 2	武庫川女子大学短期大学部 1		島根県立短期大学 1	四国大学短期大学部 1		徳島文理短期大学 1		
各種・専門学校 (35)			各種・専門学校 (25)			各種・専門学校 (25)		
ポリテクカレッジ高知 3	高知リハビリ 2	アイペットワールド 1	ポリテクカレッジ高知 3	高知理容美容 1	アミューズメントメディア 1	高知公務員学院 3	大阪芸術 2	ポリテクカレッジ高知 1
高知病院付属看護 3	四国医療専門学校 2	ハリウッド美容 1	高知病院付属看護 2	RKC調理師 1	大阪医療 1	土川ビルディングカレッジ 6	専門学校ビューティカレッジ 2	
県立幡多看護 1	行岡鍼灸専門学校 1	大原簿記法律 1	県立幡多看護 2	山野美容 1	東洋医療 1	ちば愛犬動物学院 1	東京アナウンス学院 1	
倉敷看護 1	高知福祉専門学校 1	キャリエールホテル 1	善通寺看護 1	ESPエンターテインメント 1	愛媛電子ビジネス 1	文化服装学院 1	日本工学院 1	
龍馬看護ふくし 1	高知開成専門学校 1	日本ホテルスクール 1	県立農業大学校 3	イメント 1		キャットミュージックカレッジ 1	パンタン美容 1	
高知医療学院 3	高知情報ビジネス 3	穴吹動物看護 1	高知医療学院 2	東放学園 1		高知情報ビジネス 2	大原簿記 1	
土佐リハビリ 6	高知理容美容 1	グローバル音楽器技術学院 1	高知情報ビジネス 2	トヨタ名古屋整備 1		神戸ヘルベル美容 1	東徳島病院附属看護 1	
公務員 (3)			公務員 (6)			公務員 (2)		
高知県警察 1	室戸市職員 1		高知県職員 3	中芸広域連合消防吏員 1		国家公務員三種 1		
自衛隊 1			高知県警察 1	国家公務員三種 1		大阪府警 1		
就職 (4)			就職 (6)			就職 (7)		
【県内】		【県外】	【県内】		【県外】	【県内】		【県外】
JFE環境サービス 1		郵便局株式会社 1	城西館 1		郵便局株式会社 1	東部森林組合 1		郵便局株式会社 1
四国電力 1			土佐くろしお鉄道株式会社 1		佐川急便 1	土佐くろしお鉄道株式会社 1		郵便局事業株式会社 1
ナンカイ(株) 1					熊五郎 1	愛宕病院 2		
					岡村住器 1	セントラルコンピュータテクノロジ 1		

平成22年度 スポーツ・文化クラブ成績一覧 (大会上位入賞者のみ)

【バスケットボール部】

(中学生)
 ・県中学校春季大会 1回戦(4/18)
 佐喜浜・県安芸 24-79 横浜江
 ・安芸・芸西地区夏季大会(5/22)
 県安芸 23-109 清水ヶ丘中
 ・安芸地区中学校夏季大会(6/5)
 県安芸 57-65 室戸中
 県安芸 18-113 馬路中
 ・県中学校秋季大会 1回戦(8/28)
 県安芸 16-90 市中村中
 ・安芸地区中学校新人球技大会(3位 県大会出場)(12/11・12)
 県安芸・佐喜浜 41-28 室戸中
 県安芸・佐喜浜 22-35 清水ヶ丘中
 県安芸・佐喜浜 21-44 馬路中
 県安芸・佐喜浜 42-16 奈半利中
 ・高知県中学校新人大会
 県安芸・佐喜浜 29-62 潮江中

※安芸地区新人球技大会以降は3年生が出られなくなりメンバー不足で佐喜浜中学校と中体連の規定に沿って合同チームを組んでの参加となった。

<高校生>
 ・県高校春季大会(4/10)
 安芸高校 54-73 中村高校
 ・県体(5/22)
 安芸高校 21-108 高知西高校

【弓道部】

(高校)
 ・第63回高知県高等学校総合体育大会(H22.5/15・16)
 男子個人 第3位
 秋山 遼(6-3)(四国大会出場)
 女子団体 第4位 安芸
 杉本清子(4-4)・有澤佐織(4-3)・山元那月(6-4)・島崎麻未(5-2)・久保志穂里(6-3)・西田夏生(4-3)(四国大会出場)
 ・高知県高等学校弓道秋季選手権大会(H22.9/18)
 男子個人
 1年生の部 第3位 谷井 勲(4-3)
 <中学>
 ・6回四国中学生弓道大会(団体・個人)出場(H22.8/1)
 ・第7回中学校弓道秋季選手権大会(H22.11/3)
 女子個人 第2位 仲田綾香(2-2)

【卓球部】

(高校)
 ・平成22年度高知県高等学校総合体育大会(H22.5/22・23)
 男子個人シングルスベスト16
 仙頭克実(4-4)(四国大会出場)
 ・平成22年度高知県夏季卓球選手権大会(H22.8/12・13)
 男子個人ダブルスベスト4
 安岡一也(5-1) 小松拓矢(4-2)
 ・平成22年度四国卓球選手権大会(ジュニアの部)県予選会(H22.11/27)
 男子個人シングルスベスト8
 仙頭克実(4-4)(四国大会出場)

【中体】

・高知県秋季学年別卓球大会(H22.9/23)
 1年生の部 個人女子シングルス
 森本絢音(1-1) ベスト10 四国大会出場
 ・平成22年度第57回四国卓球選手権大会(カデット以下の部)(H22.10/24)
 個人女子シングルス
 森本絢音(1-1) ベスト16

【陸上競技部】

・高知カレニバル 4/17・18(春野G)
 中学生男子
 4×100mR(小原、坂田、刈谷、谷本) 1位 46'46
 4×200mR(小原、坂田、刈谷、谷本) 1位 1'39'18
 100m 1位 坂田篤希(中3) 11'90
 一般女子
 三段跳 1位 高松由佳(高3) 9m85
 3位 浜渦理恵(高3) 9m42
 円盤投 3位 原山胡都(高3) 27m98
 一般男子 4×400mR 3位 3'33'70
 ・高知市陸上 4/24・25(高知市営G)
 中学生男子 100m 1位 坂田篤希(中3) 11'64
 200m 1位 坂田篤希(中3) 23'53
 ・高知県選手権 5/3・4(春野G)
 一般男子 三段跳 2位 岡崎三朗(高知ユニオン) 安芸高校教諭 15m13
 一般女子 100mH 1位 小松桃子(高3) 16'77
 三段跳 3位 浜渦理恵(高3) 9m67
 ・全国高校総体高知県予選 5/22・23・24(春野G)
 男子 400mH 4位 山手 峻(高3) 59'08
 女子 100m 5位 小原愛里菜(高1) 13'09
 200m 4位 小原愛里菜(高1) 27'05
 100mH 1位 小松桃子(高3) 16'38
 4×100mR 5位(深尾、小原、仙頭、高松) 51'47
 走幅跳 6位 高松由佳(高3) 5m06
 円盤投 3位 原山胡都(高3) 31m05
 砲丸投 6位 原山胡都(高3) 8m58
 ・四国IH 6/19・20・21(松山砥部G)
 個人延べ7種目、リレー1種目、11名出場
 ・県中学校通信陸上 6/27・28(春野G)
 男子 200m 1位 坂田篤希(中3) 23'75
 100m(3年) 2位 坂田篤希(中3) 11'71
 4×100mR 1位(小原、坂田、刈谷、谷本) 45'48
 ・国体予選・ジュニアオリンピック選考会
 7/10・11(春野G)

少年女子B 100m 1位 小原愛里菜(高1) 12'79
 (千葉国体出場決定)
 少年女子共通 円盤投 2位 原山胡都(高3) 29m66
 少年男子A 100mH 2位 山手 峻(高3) 59'71
 ・県中総体 7/24・25(春野G)
 男子 100m 2位 坂田篤希(中3) 11'85
 200m 2位 坂田篤希(中3) 23'37
 3位 刈谷勇希(中3) 23'81
 4×100mR 2位(小原、坂田、刈谷、谷本) 45'45
 男子総合 3位(35点)
 ・四国中総体 8/7・8(丸亀競技場)
 男子 100m 5位 坂田篤希(中3) 11'64
 200m 3位 坂田篤希(中3) 23'11
 (ジュニアオリンピック出場決定)
 400m 3位 刈谷勇希(中3) 52'33
 4×100mR 7位(小原、坂田、刈谷、谷本) 45'24
 男子総合 8位(18点)
 ・高知市陸上 9/4・5(高知市営G)
 中学男子
 4×100mR 2位(小原、坂田、刈谷、谷本) 44'99
 (県中学新記録)

・県中学新人陸上 9/11・12(春野G)
 中学女子 800m 2位 佐竹美咲(中1) 2'36'52
 ・県高校新人陸上 9/18・19(宿毛G)
 女子 100m 1位 小原愛里菜(高1) 12'93
 女子 200m 2位 小原愛里菜(高1) 26'55
 男子 三段跳び 4位 澤谷拓真(高2) 13m09
 ・春野オープン陸上・中学選手権 9/25・26(春野G)
 一般女子
 100m 1位 小原愛里菜(高1) 12'72
 円盤投げ 3位 原山胡都(高3) 30m79
 中学男子
 100m 2位 坂田篤希(中3) 11'32
 200m 2位 坂田篤希(中3) 24'06
 400m 1位 刈谷勇希(中3) 53'19
 4×100mR 2位(小原、坂田、刈谷、谷本) 45'21
 ・千葉国体 10/1~5(千葉)
 少年女子B 100m 予選5組
 6位 小原愛里菜(高1) 12'69(自己新)
 ・四国新人陸上 10/16~17(鳴門)
 女子 100m 5位 小原愛里菜(高1) 12'66
 (自己新)
 200m 6位 小原愛里菜(高1) 26'38
 ・ジュニア・オリンピック 10/22~24(神楽川日産スタジアム)
 男子 200mA 予選1組
 5位 坂田篤希(中3) 23'30
 ・安芸郡市中学駅伝 11/3(安田町)
 男子 16位 1'06'43"

1区(3km) 清藤颯介(野球部) 10'43"
 2区(3km) 刈谷勇希(陸上部) 10'29"
 3区(3km) 仙頭克実(野球部) 11'25"
 4区(3km) 大井 誠(サッカー部) 11'15"
 5区(3km) 谷本睦弥(陸上部) 11'21"
 6区(3km) 小原康平(陸上部) 11'30"
 女子 8位 50'54"
 1区(3km) 佐竹美咲(陸上部) 11'51"
 2区(2km) 松本利歩(バスケット部) 8'54"
 3区(2km) 大寺満莉菜(ソフト部) 8'06"
 4区(2km) 沖 志帆子(ソフト部) 8'33"
 5区(3km) 吉村満里菜(バスケット部) 13'30"
 ・全国高校駅伝高知県予選 11/7(高知~香南)
 男子 途中棄権
 1区(10km) 小松光次郎34'16"(区間8位)
 2区(3km) 松岡篤志 11'36"(区間8位)
 3区(8.1km) 矢田勝啓 29'15"(区間8位)
 4区(8.1km) 澤谷拓真 33'13"(区間8位)
 5区(3km) 高橋純一 10'26"(区間8位)
 6区(5km) 細川竜矢 19'37"(区間8位)
 7区(5km) 岩川亜樹 棄権
 女子 5位 1'28'49"
 1区(6km) 國島さやか24'02"(区間5位)
 2区(4.1km) 小原愛里菜18'43"(区間5位)
 3区(3km) 深尾 梓 12'50"(区間5位)
 4区(3km) 林 美緒 12'45"(区間5位)
 5区(5km) 松田梨乃 20'29"(区間5位)

・日本陸連中四国ジュニア合宿 12/26~28(松山)
 ・高知県選抜参加選手 小原愛里菜(高1)
 ・平成22年度高知県児童生徒表彰受賞
 スポーツ部門 県立安芸中学校 4×400mリレーチーム(小原康平、坂田篤希、刈谷勇希、谷本睦弥)
 【体操部】
 <高校>
 ・平成22年度高知県高等学校体操選手権春季大会(4/18)
 女子団体総合 第3位(6-4 清遠日奈子、6-4 小松愛実、5-4 甲原晶、4-4 甲原春花)
 ・第63回高知県高等学校体育大会(5/22・23)
 女子団体総合 第3位(6-4 清遠日奈子、6-4 小松愛実、5-4 甲原晶、4-4 甲原春花)
 女子個人総合 第9位 4-4 甲原春花
 【四国大会出場】
 第10位 5-4 甲原 晶
 第12位 6-4 清遠日奈子
 第18位 6-4 小松愛実
 ・第58回四国高等学校体操競技選手権大会(6/19・20)
 女子個人総合 第22位 4-4 甲原春花
 ・高知県高等学校秋季体操選手権大会(10/3)
 女子個人総合 第2位 4-4 甲原春花
 第5位 5-4 甲原 晶

【ソフトボール部】

(高校男子)
 ・平成22年度高知県高等学校総合体育大会(5/16~19) 春野総合運動公園
 VS 宿毛工 7-3
 VS 幡多農 7-2
 準々決勝 VS 高専 0-4
 <高校女子>
 ・平成22年度高知県高等学校男女ソフトボール春季大会(4/17~18) 春野総合運動公園
 VS 高知商 7-0(5回コールド)
 準決勝 VS 中央高 9-2(5回コールド)
 決勝 VS 丸の内 0-5 準優勝
 ・平成22年度高知県高等学校総合体育大会(5/16~19) 春野総合運動公園
 VS 高知西 7-0(5回コールド)
 準決勝 VS 窪川高 10-3(6回コールド)
 決勝 VS 丸の内 0-7 準優勝
 ・宿毛大会(夏季大会)(9/4~5)
 ・平成22年度高知県高等学校男女ソフトボール夏季大会
 VS 丸の内 2-1
 準決勝 VS 中央 3-1
 決勝 VS 窪川高 1-5 準優勝
 ・平成22年度高知県高等学校男女ソフトボール秋季大会(10/2・10)
 VS 高知商 9-0(5回コールド)
 準決勝 VS 丸の内 3-1
 決勝 VS 窪川高 5-6 準優勝
 ・平成22年度高知県高等学校男女ソフトボール冬季大会(11/6・13)
 VS 高知商 17-2(5回コールド)
 準決勝 VS 丸の内 1-10(5回コールド)
 3位決定戦 VS 窪川高 2-4
 <中学女子>
 ・第64回高知県中学校総合体育大会
 リーグ戦
 安芸中 0-27 甲浦中
 0-14 愛宕・片島・須崎南・東津野
 3-15 春野
 1-23 窪川・葉山・橋原

【野球部】

<中学野球部>
 ・安芸市芸西村夏季体育大会
 1回戦 県安芸 0-7 清水ヶ丘
 ・安芸地区夏季体育大会
 1回戦 県安芸 7-6 甲浦
 2回戦 県安芸 0-7 市立安芸
 ・安芸市長旗杯選抜野球大会
 1回戦 県安芸 0-3 野市
 ・選手権大会
 1回戦 県安芸 1-3 八東
 ・県新人大会安芸地区予選
 1回戦 県安芸 0-18 室戸
 ・安芸地区新人球技大会
 1回戦 県安芸 0-5 佐喜浜
 <高校野球部>
 ・第63回春季四国地区高校野球大会高知県予選
 1回戦 安芸 4-12 高知高専
 ・第92回全国高等学校野球選手権大会高知大会
 1回戦 安芸 1-7 室戸
 ・第63回秋季四国地区高校野球大会高知県予選
 1回戦 安芸 2-3 高知高専

【サッカー部】

<高校>
 ・高知県高等学校体育大会予選リーグ
 安芸高校 0-6 中央高校(4/24)
 0-2 高専(4/18)
 0-1 清水(4/25)
 ・第89回全国高等学校サッカー選手権大会高知県予選 3部4校
 安芸高校 0-3 高専(10/24)
 ・U-18前記リーグ(3部)
 安芸高校 0-2 追手前
 1-4 高知東
 5-0 小津
 0-1 高知商
 0-3 東工業
 1-0 宿毛工業
 1-1 高知工業 入れ替え戦
 2-1 桜ヶ丘 3部残留
 ・U-18後期リーグ(3部)
 安芸高校 2-3 追手前(11/14)
 1-1 土佐塾(11/20)
 3-0 東工業(12/19)
 0-2 高知商(12/23)
 1-1 宿毛(1/9)

【女子バレーボール部】

・平成22年度高知県高等学校バレーボール夏季大会 ベスト8
 1回戦 安芸高校 2-0 土佐塾高校
 2回戦 安芸高校 2-1 高知丸の内高校
 準々決勝 安芸高校 0-2 高知商業高校
 * *
 【計算実務部】
 ・第57回全国高等学校珠算競技大会および第54回四国高等学校珠算大会予選(H22.6/6)
 個人競技 第1位 大木美和
 第3位 西岡大智
 ・第54回四国高等学校珠算競技大会(H22.7/17)
 個人種目別競技(読上暗算)
 第1位 大木美和
 個人種目別競技(読み上げ算)
 第1位 大木美和
 ・第57回全国高等学校珠算競技大会出場(H22.8/3)
 大木美和 西岡大智

【書道部】

・第62回全国学生書道展(H22.7/31)
 全日会長賞 6年 南 亜佑
 書芸理事長賞 6年 近藤光希
 準大臣賞 2年 本田詠子
 全日副会長賞 6年 宮崎郁圭 小松ゆうか
 山本健太 島田穂奈美
 古谷彩乃 斉藤有沙
 5年 佐々木さら 坂本雪乃
 小原彩未 岡咲亜優
 4年 黒若あみ 久保有里佳
 ・第54回記念高野山読書大会(H22.8/6)
 記念大会賞(中国派遣旅行招待)
 宮崎郁圭(6年)
 南 亜佑 小松ゆうか(6年)
 山本健太 島田穂奈美(6年)
 佐々木さら(5年)
 総長賞
 近藤光希(6年)
 坂本雪乃 小原彩未(5年)
 審査委員長賞
 本田詠子(2年)
 南山賞
 古谷彩乃(6年)
 岡咲亜優(5年)
 田村陽奈(4年)
 富岡真珠花 中野めい(1年)
 手島 彩(6年)
 黒若あみ(4年)
 竹村知夏(2年)
 小松可奈子(1年)
 斉藤有沙(6年)
 松岡杏奈(4年)
 足達菜子 川村光璃
 ・第7回安芸全国書展高校生大会(H22.8/17)
 安芸市長賞 古谷彩乃(6年)
 書道美術館賞 斉藤有沙(6年)
 優秀賞 山本健太(6年)
 入選 宮崎郁圭 南 亜佑
 小松ゆうか 島田穂奈美
 近藤光希(6年)
 佐々木さら 坂本雪乃
 泉 佳(5年)

・読売新聞259回生徒児童紙書道展(H22.9/29)
 1席 2年 本田詠子
 3席 1年 中野めい
 ・平成22年度 J A 共済全国小中学生書道・交通大会(H22.10/15)
 ポスターコンクール高知県大会
 銀賞 1年 富岡真珠花
 銅賞 1年 中野めい
 佳作 3年 本田詠子
 ・第64回 高知県美術展覧会(H22.10/19)
 入選 6年 近藤光希 5年 佐々木さら
 ・第56回 安芸市美術展覧会(H22.11/14)
 褒状 6年 斉藤有沙
 5年 小原彩未 坂本雪乃
 努力賞 5年 坂本雪乃
 奨励賞 6年 山本健太 南 亜佑
 ・第33回 高校書道展(H22.11/21)
 奨励賞 5年 佐々木さら(全国高等学校総合文化祭福島大会出場・H23.8)
 奨励賞 5年 小原彩未 坂本雪乃
 ・第3回高知県小中学生選抜書展(H23.1/30)
 高知県知事賞
 1年 中野めい
 国際ソロブキスト安芸賞
 1年 富岡真珠花
 秀作賞 2年 竹村知夏 1年 小松可奈子
 ・第19回 国際高校生選抜書展(H23.2/6)
 四国地区準優勝校(団体)
 秀作賞 6年 山本健太
 入選 6年 宮崎郁圭 南 亜佑
 小松ゆうか 島田穂奈美
 近藤光希 斉藤有沙
 古谷彩乃 北野拓也
 5年 杉村俊輔

・第61回 こども県展(H23.3/6)
 毛筆の部
 推薦 2年 竹村知夏
 1年 中野めい
 特選 1年 江本美咲 高橋 恭子
 富岡真珠花
 硬筆の部
 推薦 2年 中野めい
 1年 山脇瑠璃 南 碧衣
 特選 2年 高橋恭子 富岡真珠花

【吹奏楽】

・平成22年度高知県吹奏楽コンクール高等学校A部門 銅賞(H22.8/2)
 ・第34回全日本アンサンブルコンテスト高知県東部地区大会(H21.12/23)
 中学校部門
 クラリネット四重奏 金賞(代表)
 フルート三重奏 銀賞
 サクソフォン三重奏 金賞
 金管六重奏 銅賞
 高等学校部門
 打楽器七重奏 金賞(代表)
 クラリネット四重奏 銅賞
 金管四重奏 銀賞
 ・第34回全日本アンサンブルコンテスト高知県大会(H22.1/16)
 中学校部門 クラリネット四重奏 銀賞
 高等学校部門 打楽器七重奏 銀賞